

---

# 盟和産業株式会社

## 2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

### 2022年12月1日



- I 第2四半期決算レビュー**
- II 通期業績見通しおよび  
重点課題の取組み**
- III 株主還元**
- IV (ご参考) 売上高の内訳等**

# I 第2四半期決算レビュー

# 第2四半期決算の主なポイント

## ◆ 4-6月期で自動車減産底打ち

中国都市封鎖の影響を受けた4-6月期（国内1Q  
海外2Q）をボトムに自動車生産回復傾向

## ◆ 通期黒字回復見通し

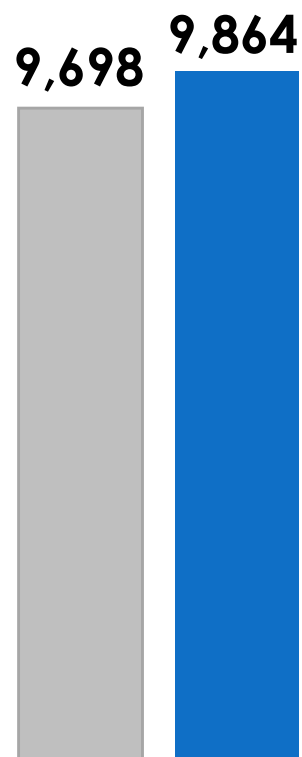
原材料価格・エネルギーコストの上昇を原価低減と  
販売価格見直しでカバーし通期黒字回復見通し

## ◆ 住宅堅調

住設資材の需要堅調、セグメント利益確保

# 連結業績の概要

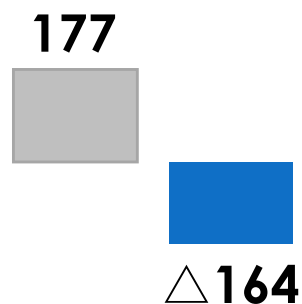
(百万円)



自動車減産による影響と為替換算の変動  
(為替影響は+310百万円)

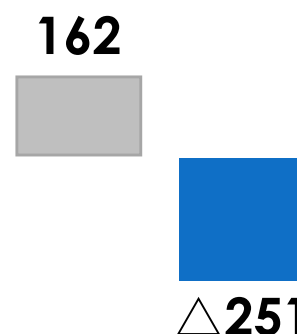
■ 2022/3期2Q  
■ 2023/3期2Q

受注減少に加え原材料価格や  
エネルギーコストの高騰

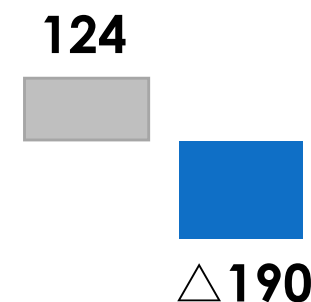


営業利益

リファイナンスに伴う手数料等  
一時的な費用の計上

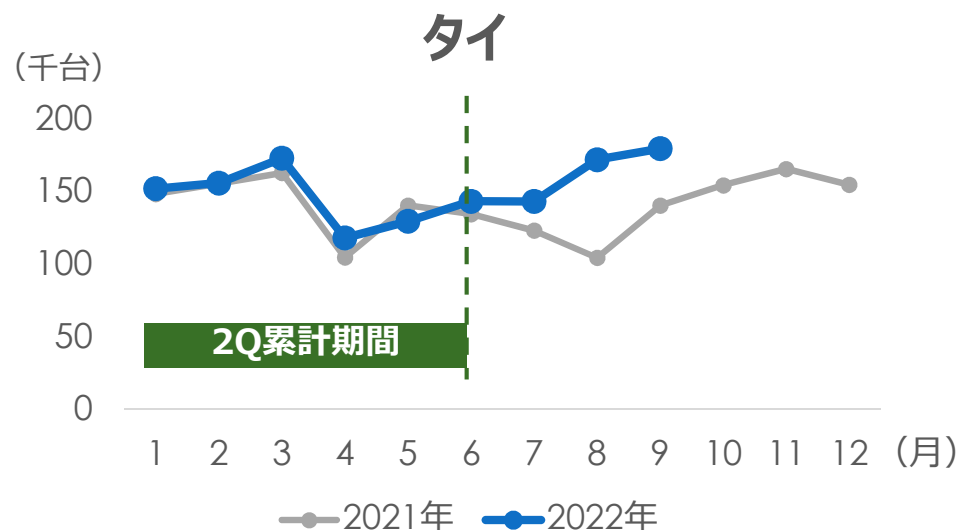
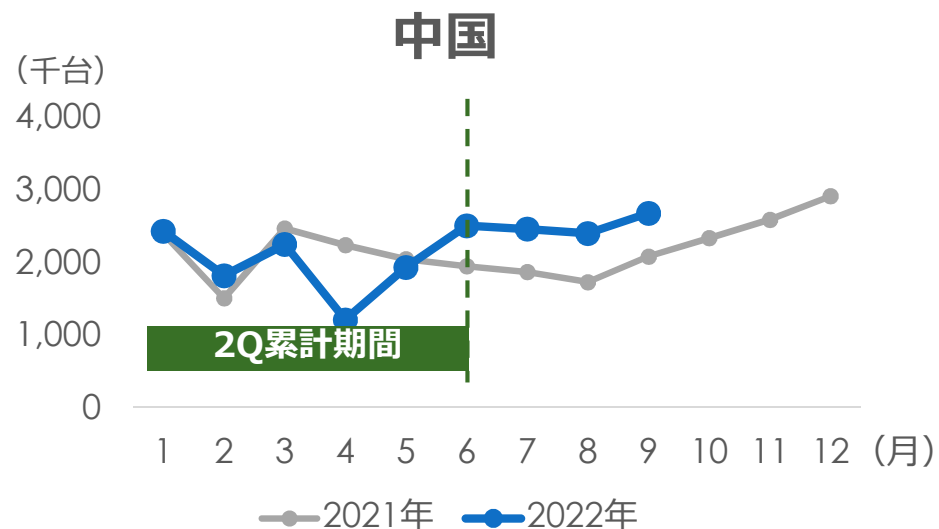
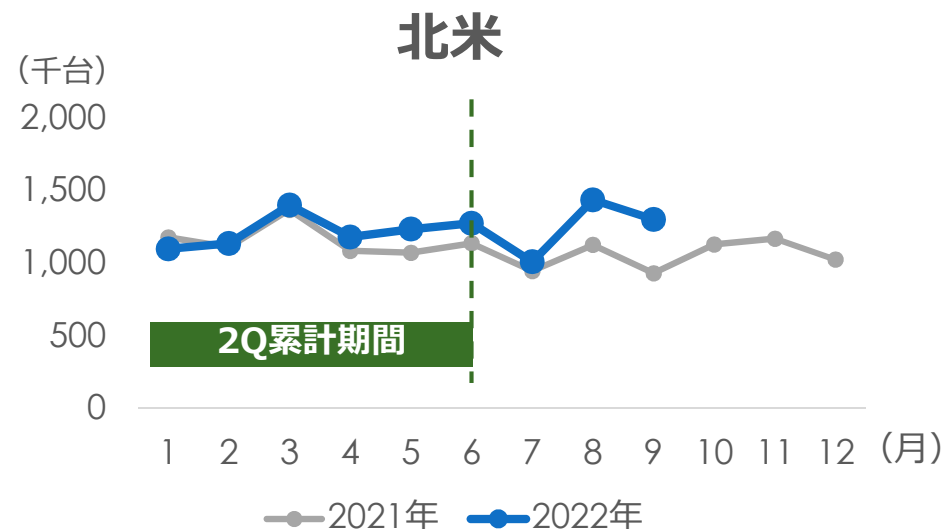
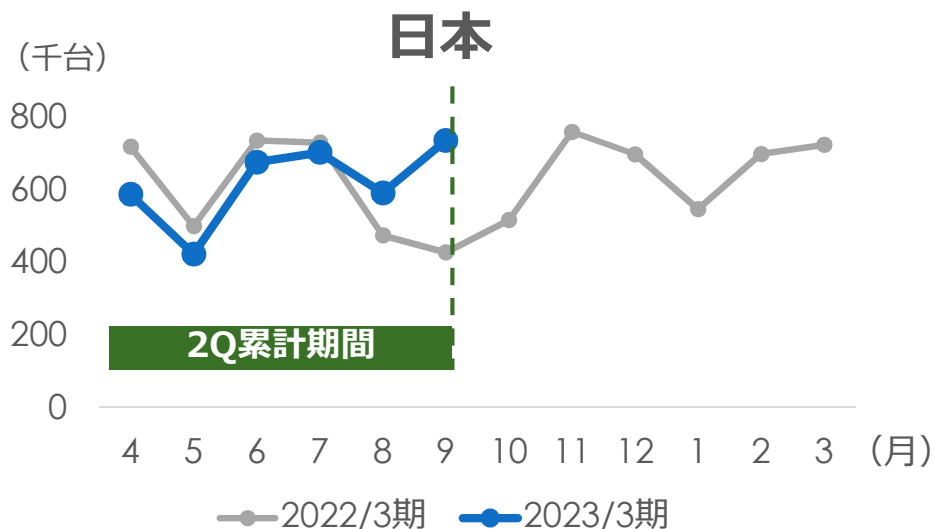


経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益

# 自動車生産台数推移 (月別)



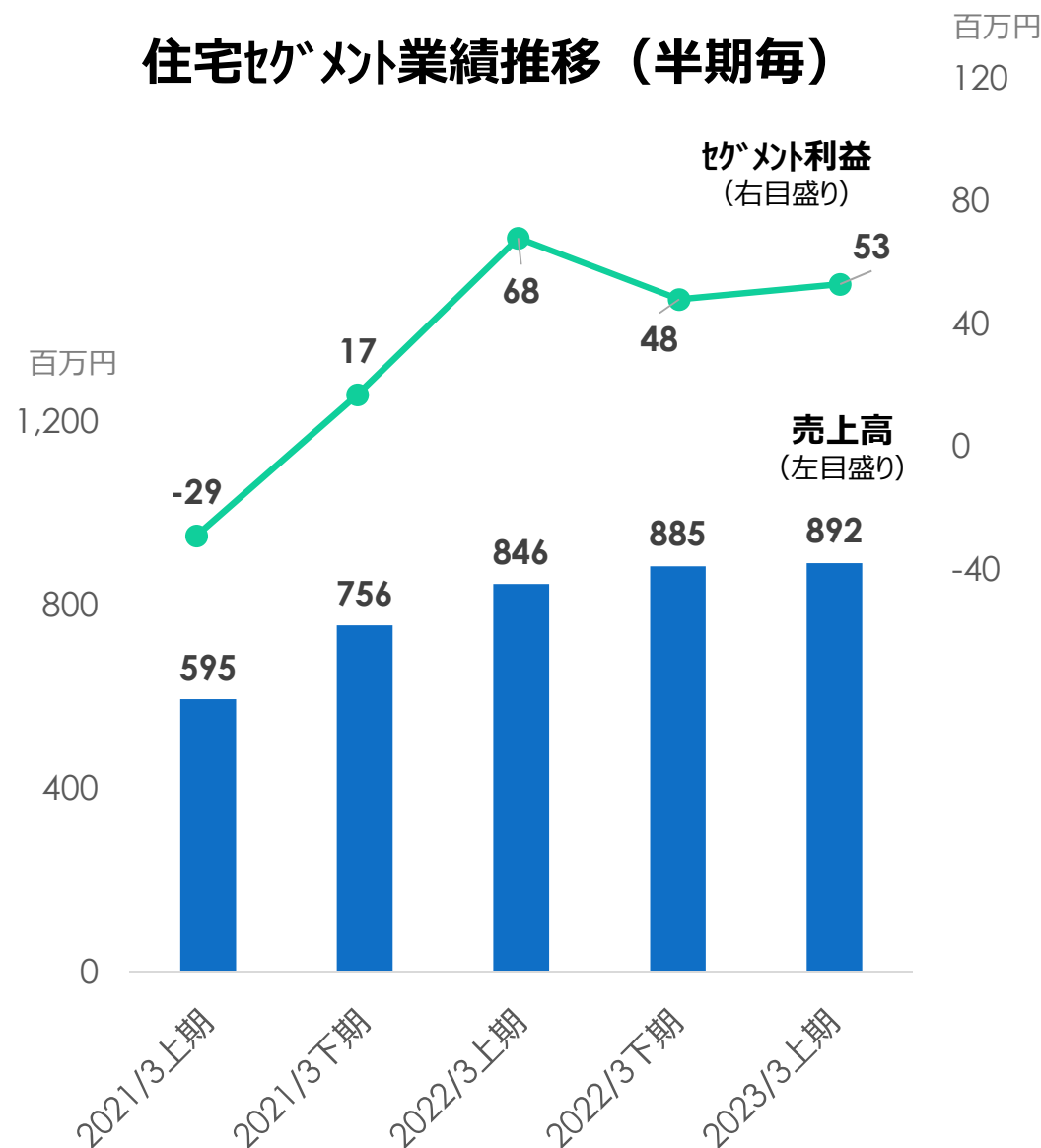
(出典：マークラインズのデータを基に当社グラフ化)

# 住宅セグメント業績

◆ **住設資材堅調**  
資材価格上昇して  
いるものの需要は  
堅調に推移

◆ **効率的な運営体制**  
セグメント利益確保

## 住宅セグメント業績推移（半期毎）

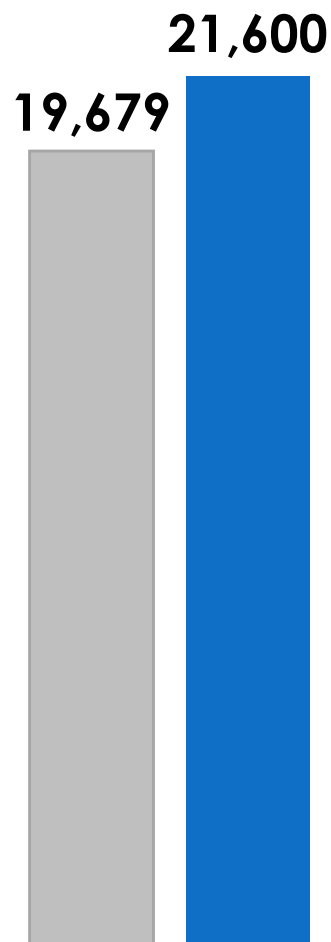


## Ⅱ 通期業績見通しおよび 重点課題の取組み



# 通期業績見通し

(百万円)

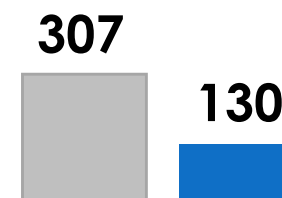
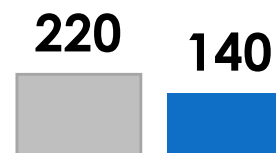
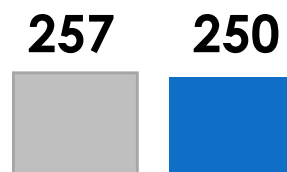


部品供給制約の影響長引き  
自動車生産伸び悩み

■ 2022/3期実績  
■ 2023/3期予想

## 11月10日付で通期業績予想を修正

自動車の受注減少に加えて  
原材料価格やエネルギーコスト高騰を受け  
原価低減や販売価格の見直し等による挽回に取り組む



売上高

営業利益

経常利益

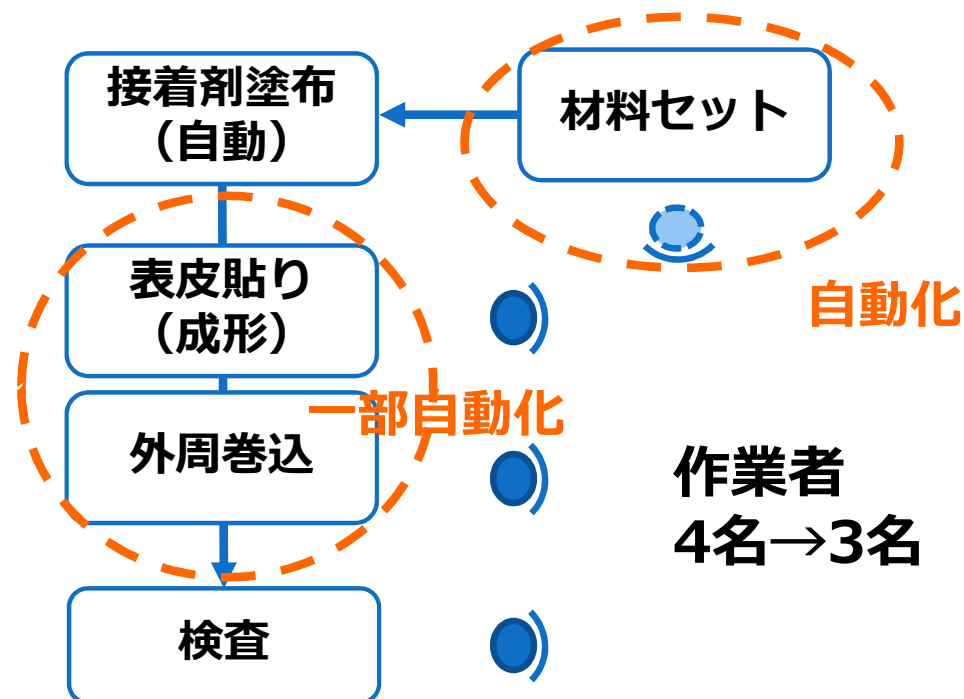
親会社株主に帰属する  
当期純利益

# 重点課題 収益力強化 省人化設備導入例

## ▶ 表皮貼り合わせ設備

工程を一部自動化、  
サイクルタイム短縮  
従来比作業員1名削減

受注量減少時は  
さらに少人数でも  
作業可能なレイアウト



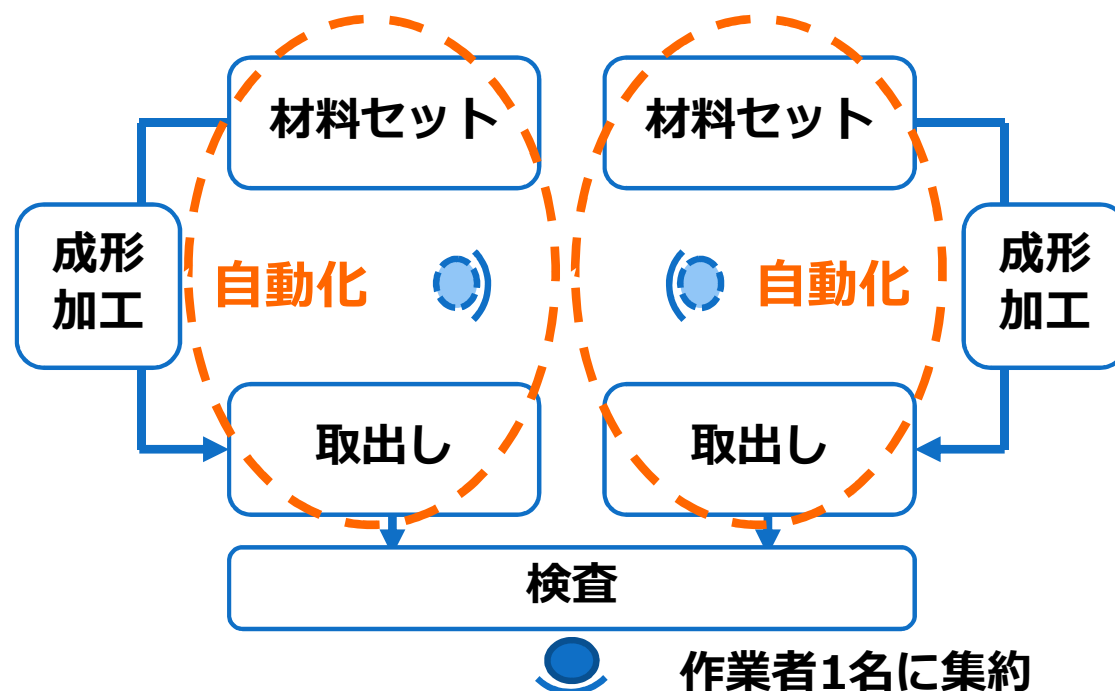
# 重点課題 収益力強化 省人化設備導入例

## ➤ プレス機

- 材料セットと製品取出しの自動化
- レイアウトの改善



1名の作業者が  
複数のプレス機を  
操作可能



## 内外連携

- **グローバルSUV車の受注活動強化**
- **軽量・高剛性ラゲージボードの提案積極化**
- **EV（電気自動車）メーカー等への受注活動**

# 重点課題 新技術開発 開発テーマ (例)

NO	分野	開発テーマ	期待する効果	SDGsとの関連
1	自動車 内装部品	軽量・高剛性ラゲージボード	軽量 高性能	7、9
2		軽量・断熱材製品	軽量・断熱	9、13
3		電磁波シールド材製品	ノイズ遮断	3、9
4		吸遮音材製品	静粛性	3、9
5		社内端材リサイクル製品	資源循環	12
6	住宅	住設資材の施工性改善	省エネ施工	7、11
7	生産工法	製品端材のダイレクト還元	資源循環 省エネ	7、12、13
7		過熱蒸気加熱	省エネ	7、12

■ 研究開発費 (技術者の人件費等を含む)

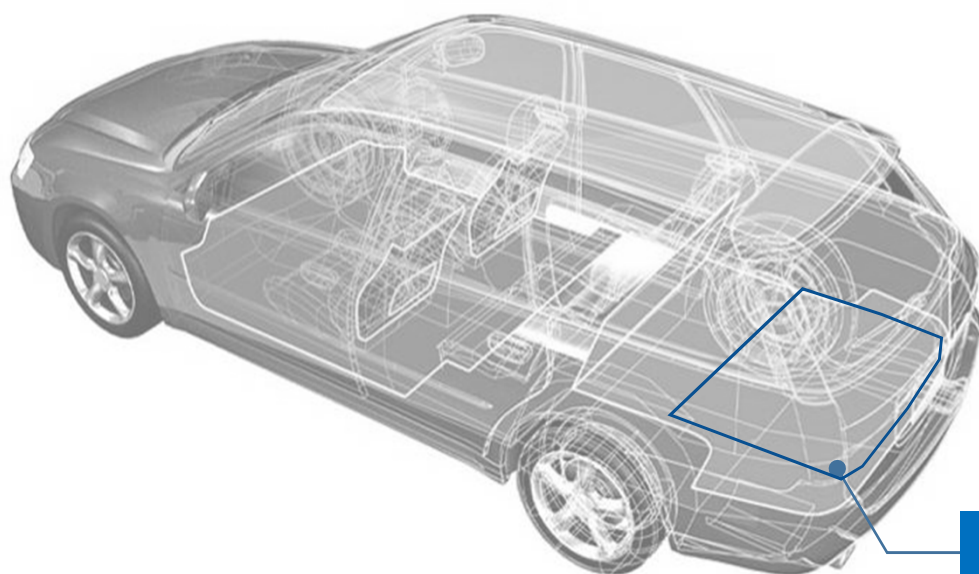
2022年3月期 4 億円



# 重点課題 新技術開発

## ➤ 軽量・高剛性ラゲージボード

- 20%の軽量化を実現
- SUV等で多く採用のラゲージボードと同等以上の高い剛性を保持



ラゲージボード

### ◆ 製品断面



表層材  
+  
熱硬化性発泡体  
+  
表層材



# 中期経営計画見直し 事業環境の変化

車載半導体の  
需給逼迫による自動車の  
生産調整の常態化

収束しないコロナ感染と  
中国都市封鎖等サプライ  
チェーンの混乱

ロシアのウクライナ侵攻に  
伴う資源・エネルギー価格の  
高騰

インフレの進行による  
コストアップと欧米諸国の  
金融引締め、急激な為替変動

**まずは環境変化に迅速に対応  
収益確保に注力**

# 中期経営計画見直し 方向性

- ◆ **2023年度までは効率重視の運営**  
半導体不足の収束が見込まれる**2024年度以降**  
**成長軌道に戻す**
- ◆ **自動車部品**  
高剛性ラゲージボードの受注拡大とEV向け製品の強化  
**住宅**  
非自動車部門として新しい市場の開拓に注力



# 気候変動への取組み

**目標：2050年カーボンニュートラル達成**  
**2030年までに2013年比で50%削減（SCOPE 1, 2）**

- **生産プロセスに於けるGHG排出量の削減に向け  
無駄・ロスの極小化と物流の最適化**
  - **工場照明のLED化推進**
  - **フォークリフトの電動への切替**
- **工程別の消費エネルギーの可視化**
  - **工程毎に電流のログを取り  
消費エネルギーを計測、削減に取り組む**

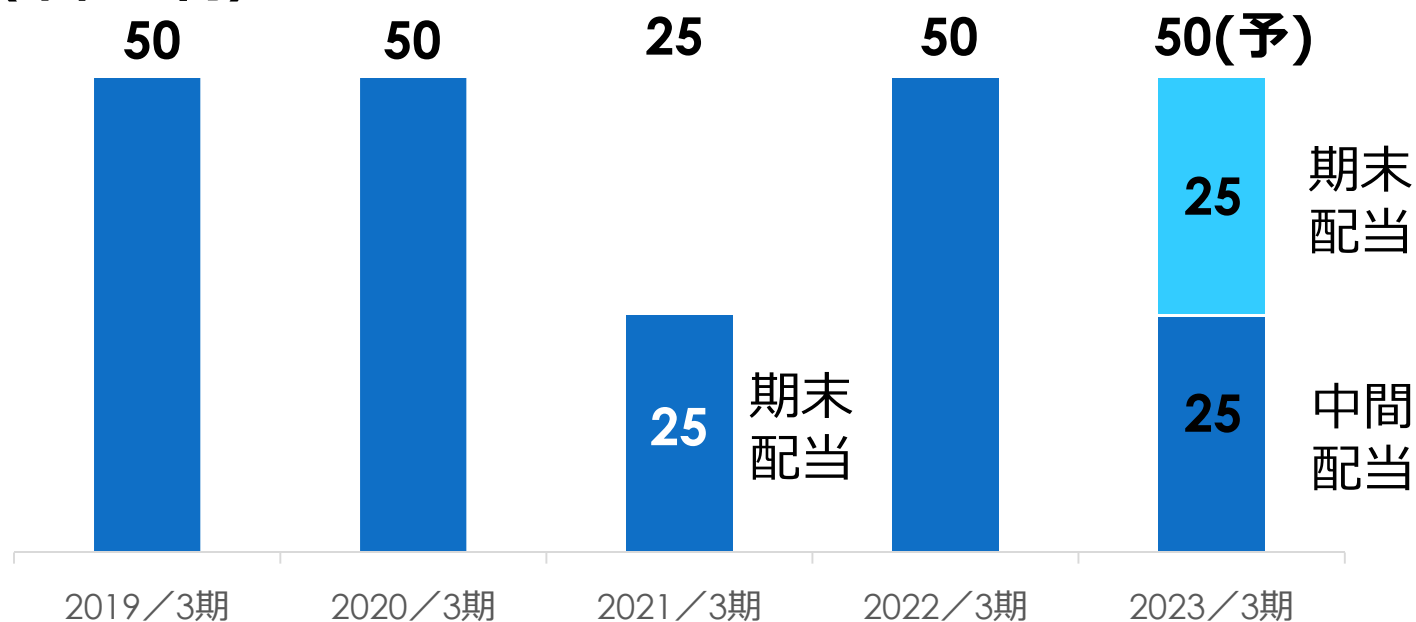
# Ⅲ 株主還元

## 利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

## 一株当たり配当金の推移

(単位：円)



- 2023年3月期は中間配当25円を実施
- 期末配当25円、年間配当50円を見込む

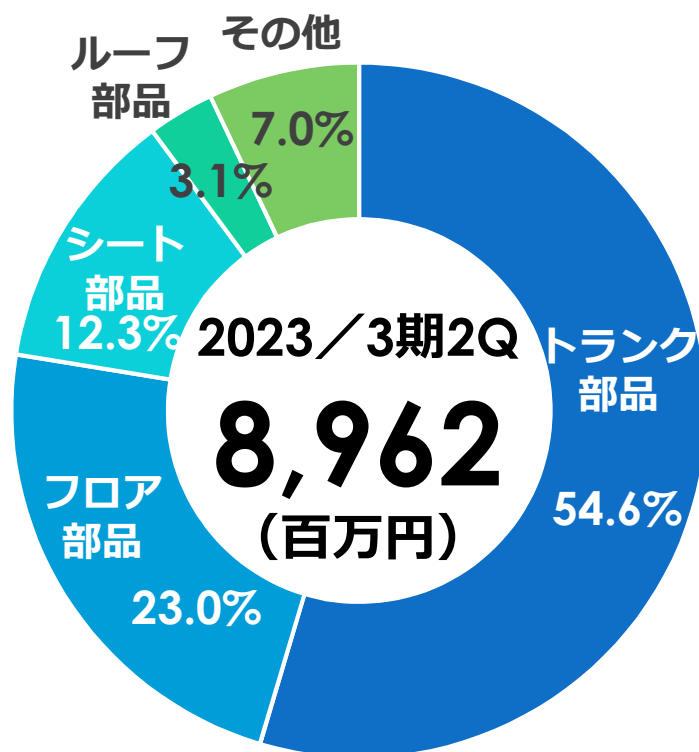
# IV (ご参考) 売上高の内訳等



# 自動車部品の部位別売上高

## 売上構成はトランク部品が約 5 割

自動車部品売上高

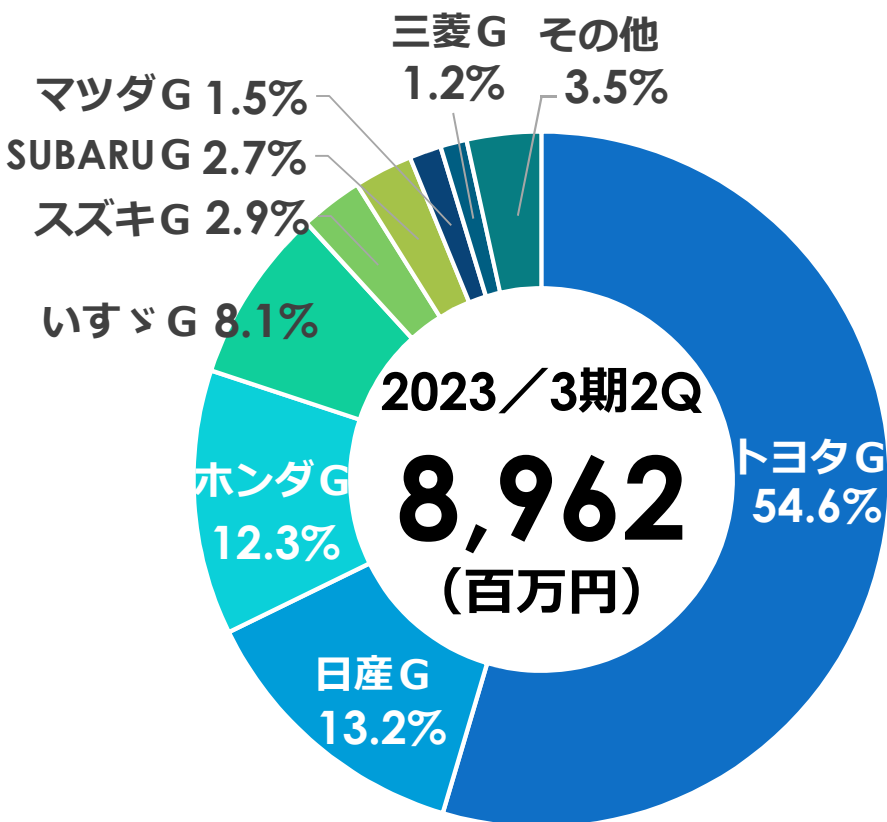


	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	4,894	54.6
■ フロア部品	2,059	23.0
■ シート部品	1,100	12.3
■ ルーフ部品	277	3.1
■ その他	631	7.0

# 自動車部品のメーカー別売上高

## トヨタグループ向けが約5割

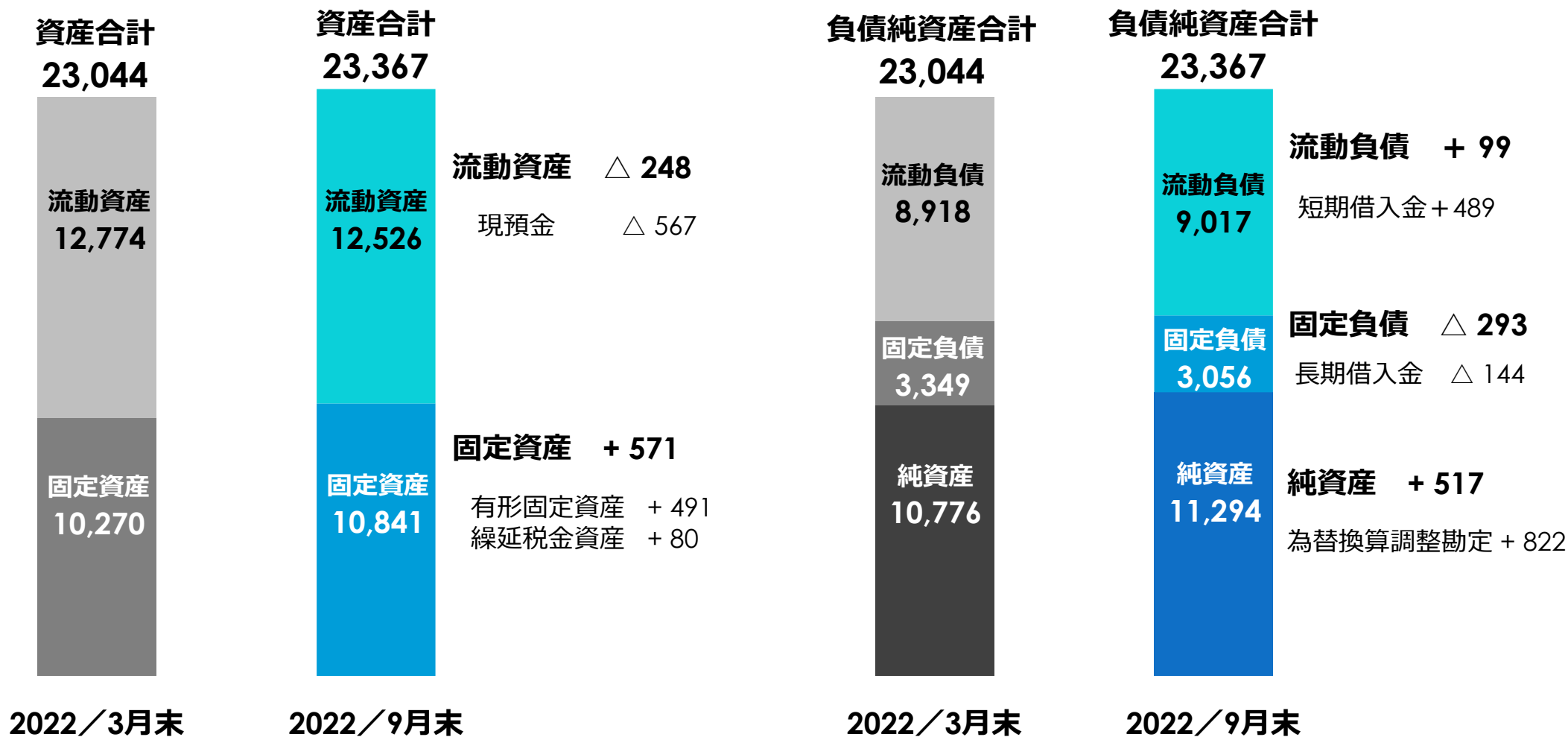
自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	4,891	54.6
■ 日産G	1,182	13.2
■ ホンダG	1,101	12.3
■ いすゞG	728	8.1
■ スズキG	260	2.9
■ SUBARUG	243	2.7
■ マツダG	133	1.5
■ 三菱G	109	1.2
■ その他	310	3.5

# バランスシートの概要

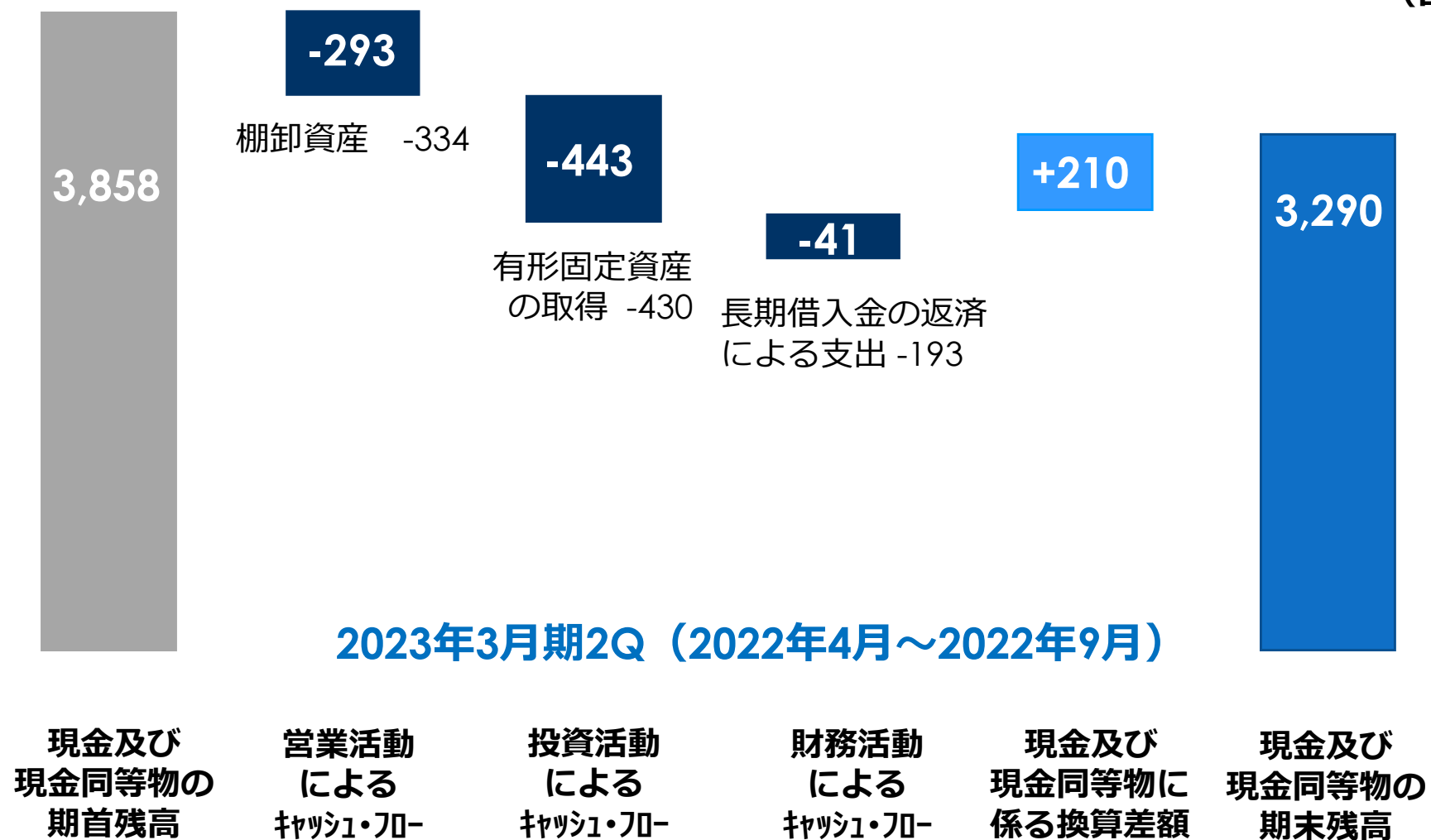
(百万円)





# キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)



---

**本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。**

## **盟和産業株式会社**

